



令和五年度 横須賀市立田浦中学校

第三学年 前期期末テスト

令和五年九月七日(木)実施

Ⅱ 国 語

- 教科書
P.44～ 聞の文化
P.72～ 批評文
P.76～ 和語・漢語・外来語
P.78～ 希望
P.99～ 慣用句・ことわざ・故事成語
P.108～ 和歌の世界(抜粋)
- 漢字ワーク P.16～33 (8～16)
- 夏休みの宿題
- 応用問題

1 はじめのチャイムが鳴ったら冊子を開き、ページを確認して問題を解き始めてください。

2 分からない問題にこだわらず、できる問題から解きましょう。

3 解答は、解答欄に丁寧に記入してください。

4 指示がなくても漢字で答えるようにしましょう。

5 解答用紙にマス目がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。

6 問題文を最後までよく読み、答え方に気を付けて解答しましょう。

7 文字は濃く大きく書き、句読点も書く場合は、分かるように書いてください。読めない文字や汚い文字は採点しません。

8 二度書きをせず、消しゴムも気を付けて使用しましょう。

9 終わりのチャイムが鳴ったら、すぐに鉛筆を置いてください。

三年	組	番	氏名
----	---	---	----

問一 次の問いに答えなさい。

【知技】

(ア) 次の a ～ d の各文中の——線をつけた漢字の読み方として最も適切なものを、次の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

- | | |
|-----------------------|---------------------------------|
| 1 消化 <u>酵素</u> のはたらき。 | 「1 ちっそ 2 さんそ 3 すいそ 4 こうそ」 |
| 2 怨念を晴らす。 | 「1 いんねん 2 おんねん 3 いねん 4 おうねん」 |
| 3 恣意的な解釈。 | 「1 じてき 2 ぎいてき 3 しいてき 4 かいてき」 |
| 4 隷書の字形。 | 「1 れいしょ 2 れきしょ 3 じょうしょ 4 じょいしょ」 |

(イ) 次の a ～ d の各文中の——線をつけたカタカナを漢字に表したとき、その漢字と同じ漢字を含むものを、あとの1～4の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

- a 諸国をヒョウハクする。
- | | |
|----------------|-------------|
| 1 発表者にハクシユをする。 | 2 ハクガイを受ける。 |
| 3 タオルをヒョウハクする。 | 4 シュクハク学習。 |
- b 残りワズカな時間
- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 カイキン賞をもらう。 | 2 キンサの勝負。 |
| 3 キンジツ公開の映画を見る。 | 4 キンチョウの瞬間。 |

c ハトバに着く。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 ハドメがきく。 | 2 家のシユウハを調べる。 |
| 3 ハスウが合わない。 | 4 ハチョウの合う仲間。 |

d 説明をハブく。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 ショウセツを読む。 | 2 ショサを大切にする。 |
| 3 権利をマツショウする。 | 4 ショウリヤクした内容。 |

(ウ) 次のことわざの意味として適切なものをあとの選択肢から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

a 濡れ手で粟

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 苦労せずに利益を得ること。 | 2 一生懸命働き、利益を得ること。 |
|-----------------|-------------------|

b 情けは人のためならず

- | |
|------------------------------|
| 1 情けはその人のためにならないから、かけない方がよい。 |
|------------------------------|

2 人に情けをかけておけば、それがめぐってやがて自分にいいことが回ってくる。

c 枯れ木も山のにぎわい

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 人が集まり、にぎやかな様子。 | 2 つまらないものでも、ないよりはましである。 |
|------------------|-------------------------|

(エ) ——線をつけた慣用句の意味として適切なものをあとの選択肢から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

a けが人を前に、手をこまぬいていたわけではない。

b 息もつかずに推理小説を読み終えた。

c 迷惑をかけたので、叔父の家は敷居が高い。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 趣味などが一致すること。 | 2 高級すぎたり上品すぎたりして入りにくい。 |
| 3 何もせずに見ていること。 | 4 一息に夢中になってする様子。 |
| 5 計画はすばらしいが実践できないこと。 | 6 相手に不義理などをしてしまっていること。 |

(オ) 次の状況の時に使う故事成語として適切なものをあとの選択肢から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

- a 白いシャツに、書道の墨をばたばたと垂らしてしまった。
b 今まで誰も思いつかなかった商品を作り出し、爆発的に売れた。
c クラスでは一番だったが、市の大会では初戦で負けてしまった。

- 1 先んずれば人を制す 2 杞憂 3 他山の石 4 虎の威を借る狐
5 覆水盆に返らず 6 虎穴に入らずんば虎児を得ず 7 井の中の蛙大会を知らず

(カ) 次の混種語のうち、漢語と和語の組み合わせには1、和語と外来語の組み合わせには2、漢語と外来語の組み合わせには3、和語と和語の組み合わせには4を書きなさい。

- a コーヒー牛乳 b 板チョコ c 花火大会 d 台所

(キ) 次のa～cの例文中の——線をつけた言葉と同じはたらきをする言葉を含む文を、あとの1～4の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

例文 a スーパーマーケットにはさまざまな商品がならんでいる。

- 1 これこそ理想の学校であろう。 2 心の中で礼を言う。
3 複雑で難しい問題だ。 4 新聞を読んでいた。

例文 b 卒琢とは、ぴったり呼吸の合つことである。

- 1 母の自転車譲りを受ける。 2 姉の見たがっていた映画が公開される。
3 美しい景色を見るのが楽しみだ。 4 この弁当箱は弟のだ。

例文 c よく調べないで批判すれば、反感をもたれるばかりである。

- 1 ママにいれば心配ない。 2 遊んでも楽しくない。
3 彼の部屋はきたない。 4 最善だとは思わない。

問二『仮名序』を読んで、あとの問いに答えなさい。

仮名序

①やまとうたは、人の心を種として、

よろづの言の葉とぞなれりける。

世の中にある人、ことわざ繁きものなれば、

心に思ふことを、見るもの聞くものにつけて、

言ひ出だせるなり。

②花に鳴くうぐひす、水にすむかはづの声を聞けば、

③生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざりける。

力をも入れずして天地を動かし、

目に見えぬ鬼神をもあはれと思はせ、

男女のなかをも和らげ、

猛き武士の心をも慰むるは歌なり。

- (ア) 線①「やまとうた」について、現代語では何と言われるか。漢字二字で書きなさい。【知技】
(イ) 「仮名序」について、次の問いに答えなさい。【知技】

a どの歌集に含まれる序文か。 b 作者を漢字で書きなさい。

- (ウ) 線②「花に鳴くうぐひす、水にすむかはづの声」は、「うぐひす」「かはづ」が対になっていると考えられる。それぞれが示す季節として適切なものを、次の中から一つずつ選び、その番号を答えなさい。【思判表】

1 春 2 夏 3 秋 4 冬

- (エ) 線③「生きとし生けるもの、いづれか歌をよまざりける」について、次の問いに答えなさい。【知技】

a 現代語訳として最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 生きているもののうち、どれかは歌をよむだろう。 2 生きているもので、どれが歌をよめるだろうか。

3 生きているものはすべて、歌をよむものである。 4 生きているものが皆、歌をよむとは限らな。

5 この世に生きているものは、歌をよむべきだ。

b この部分の他に、係り結びが用いられている部分が本文中にある。古文中から「一行」で書き抜きなさい。

- (オ) 作者の考える和歌のもつ効果を、それぞれ書き出しに続く形で現代語で書きなさい。【思判表】

a 天地の神々の心を)

(効果)

b 目に見えない精霊たちを)

(効果)

- (カ) 万葉集の説明として最も適切なものを次の選択肢からすべて選び、その番号を答えなさい。【知技】

1 奈良時代後期に成立し、複数の歌人によって編集されたものだとかつてゐる。民衆の歌から身分の高い人の歌まで幅広い層の歌が組み込まれているのが特徴である。その歌数は四千首以上ののぼり、日本文化の基盤となった。

2 奈良時代後期に成立し、大伴家持が編集に携わったとされる。力強い歌から優美な歌まで幅広い層の人たちの歌が組み込まれているのが特徴である。当時の天皇が日本文化を形成するために熱意をふるって作成を命じたものである。

③

3 奈良時代後期に成立し、現存する日本最古の歌集と言われる。編集には大伴家持が関わっていると言われる。四千首以上の歌を一人でまとめあげた。歌の作者はほとんどが民衆であり、素朴で力強い歌風が日本文化の基盤となった。

4 奈良時代初期に成立し、その歌数の多さから複数の歌人によって編集されたと推測される。表現技法が比較的少なく、作者のありのままの気持ちがよく表れている。中国の文化に強く影響され、日本書紀などと並び日本文化形成に大きく関わった。

- (キ) 古今和歌集、新古今和歌集について、次の問いに答えなさい。【知技】

a 二つの歌集は、成立の過程において共通点がある。一つあげ、簡潔に説明しなさい。

b 二つの歌集についてまとめた次の文について、「a」「c」「d」に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢から一つ選び、その番号を答えなさい。

古今和歌集は、「a」四人の手によつて編集され、六歌仙をはじめ百人一首にも選ばれた歌人が多く登場する。国風文化が確立した時代であり、理知的で「b」な歌風が評価されている。一方で、新古今和歌集は「c」六人が編集に関わり、政権が貴族から武士に移る貴族文化の終わりに成立した。八代集の最後となるこの歌集は、技巧に富んだ幻想的で「d」な歌風と評価される。

- 1 「a」藤原定家 b 力強い c 紀貫之 d 絵画的
2 「a」紀貫之 b 優美 c 藤原定家 d 絵画的
3 「a」壬生忠岑 b 華やか c 凡河内躬恒 d 色彩的
4 「a」紀貫之 b 荘厳 c 藤原定家 d おおらか

問三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

八重桜の濃いピンク色に、真昼の光線が反射する。まぶしいほどの色調が辺りに漂い、胸が騒ぐ。いい歳をして……と、自分を叱咤しながらも、そよ風でゆりかこのように揺れる花にじっと見入っていた。

明るい声が響いて我に返り、振り向いた。二十歳そこそこの若い男女が夢中で話しながら、太い幹の向こうから近づいてきた。手にした本の中身を論じ合っているようだ。ぼんやりとたたずんでいた私を彼らはちらりと見て通り過ぎていった。

それでも私はなんだかうれしくなった。最近の若い人には夢がない、と耳にすることがある。けれど、すれ違った彼らには、あふれんばかりの希望や夢があるように感じられたからだ。

希望というのは、人間が生きるための大きなエネルギー源といえるだろう。だからこそ絶望は、死につながるが多い。

「私が生き延びられたのは、希望を失わなかったからです。」

希望についてしみじみと、そう語ったポーランド人のスタシャックさんを思い出す。彼は、第二次世界大戦中の「夜と霧作戦」で逮捕されたユダヤ人だ。

霧の深い闇夜に忍び寄って逮捕する、というヒトラーの作戦は、①未曾有の大量虐殺へと突き進んだ。「最終的解決」の命令によって、ユダヤ人の六百万人ともいわれるすさまじい数の命が抹消されたのだった。

わずかだが生還できた人たちがいる。誰かに会いたいと思ひ、一九八六年の夏に、初めて②ポーランドを訪れた。今と違って冷戦時代のまった中にあり、ソ連当局の険しい視線がポーランド国民に（そして私の言動にも）注がれていた。そうした中にも、諦めることなく自由を求めて努力する人々の張りつめた生き方に、身を引き締められる思いがした（その後、何度か訪れているうちに東西の対立が崩れ、人々は束縛から解かれた）。

スタシャックさんは半世紀前、ナチスの狂気と残虐性を象徴するあの③アウシュビッツ絶滅強制収容所を脱出し、数人の仲間と一緒に村人にかくまわれて、やっと自由を得た。

④彼の妻エルナさんは、その村の娘だった。彼女はユダヤ人ではなかったが、ナチスの余りにもむごい残虐な行爲を黙って見過ごせなかった。

「私が助けたのは、塩のためでも、土地のためでもなかった。金銭をもらうためではなかったということです。何よりも、心の痛みに耐えきれなかったからです。」

そういうエルナさんに⑤スタシャックさんの第一印象を尋ねると、衝撃を思い出すようにこう言った。

「彼は目もよく見えないようだったし、歩き方もよたよたしていて、五十歳くらいかと思いました。ところがなんと、まだ二十代だったんですよ。」

殺害、餓死、病死などの恐怖と直面させられていたスタシャックさんは、いったいどのようにして生き延びたのだろうか。

「多くの人たちが連合軍が助けてくれるとか、神が救ってくれるとか、他の力に期待していました。でも私には、希望だけが大切でした。人間は鋼鉄のように強い神経をもっている。その神経に絶えず希望という小川が流れている限り、人間は耐えられるのです。」

むろん運もある。が、それだけではない。強い意志と人間への信頼感、それに友達の助け、生き残れるという自信も必要だった。また、労働の現場が屋根の下だったか外だったかも生死を左右したと、生還した人たちは口々に語ってくれた。

戦後、腕に刻まれた青黒い囚人番号を抱えながら、スタシャックさんは新たな希望と使命感に燃えて政治家になった。が、まもなくさまざまな圧力を受けて、学者の道を選んだ。

「私にとってかけがえのないものは、孫娘のカロリーナです。私が生還できたことの証明と、未来の希望が彼女にはあるからです。」

八重桜のたもとを通った若者たちの後ろで、花弁が舞った。花に向けたレンズの焦点を合わせていると、⑥ファインダーの中にほほえむカロリーナが見えたような気がした。

(ア) 線①「未曾有」の類義語として適切でないものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。 【知技】

- 1 空前 2 前代未聞 3 架空 4 破天荒 5 大胆

(イ) 線②「ポーランドを訪れた」について、次の問いに答えなさい。 【思判表】

a その目的を本文の言葉を使って説明しなさい。

b 当時のポーランドの状況として最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 冷戦時代の真つただ中で、言動に自由が与えられていない状況。

2 ソ連当局の支配下にありながらも、人々が安心して暮らせる状況。

3 物理的な戦争は終わったが、精神的な戦争が始まっていた状況。

4 国内で対立が起こり、家族が離れ離れになってしまっている状況。

(ウ) 線③「アウシュビッツ絶滅強制収容所」について、次の問いに答えなさい。 【思判表】

a この収容所の説明として適切なものを次の中からすべて選び、その番号を答えなさい。

1 「夜と霧作戦」で霧のようなものをかけられたのち、連行され収容された場所。

2 過酷な肉体労働に明け暮れ生還することはまずできないとされる場所。

3 殺害、餓死、病死などの恐怖に直面することが日常であった場所。

4 来るやいなやすぐにアルファベット数文字の新たな名前を与えられ、腕に刻まれる場所。

b この収容所から生還できた人たちが語った生還の理由として適切でないものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 運がよかった

2 友だちの助けがあった

3 希望を失わなかった

4 強い意志を持っていた

5 生き残れるという強い意志をもっていた

6 青黒い囚人番号が腕に刻まれていた

(オ) 線⑤「スタシヤックさんの第一印象」について、エルナさんが抱いた「第一印象」として適切でないものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。 【思判表】

1 目がよく見えていない様子。

2 よたよたした歩き方。

3 五十歳くらいの見た目。

4 舌がよく回らない様子。

5 スタシヤックさんが、神の救いや他の力に期待するのではなく、「希望」が大切だと考えていた理由を文章中の言葉を使って解答欄に入るように書きなさい。 【思判表】

(キ) 線⑥「ファインダー」の中にほえむカローリーナが見えたような気がした」について、筆者はカローリーナに代表されるような若者たちにどのような思いを投影しているか。最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。 【思判表】

1 人間への信頼感

2 次の時代への希望

3 若さへのあこがれ

4 新たな使命感

5 色彩豊かな未来

(ク) この作品で表されている「希望」として適切でないものを次の中からすべて選び、その番号を答えなさい。 【思判表】

1 人間が生きたための大きなエネルギー源

2 鋼鉄のように強い神経に流れる小川のようなもの

3 濃いピンク色に染まった八重桜

4 スタシヤックさんの孫娘カローリーナ

5 筆者の前を通り過ぎた若い人たち

6 レンズの中のファインダー

問四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本語の「間」という言葉にはいくつかの意味がある。

まず一つは「①空間的な間」である。「隙間」「間取り」というときの「間」であるが、基本的には「物と物とのあいだの何もない空間」のことだ。絵画で何も描かれていない部分のことを余白というが、これも空間的な間である。

日本の家は本来、床と柱とそれを覆う屋根でできていて、壁というものが無い。これは部屋を細かく区分けし、壁で仕切り、そのうえ、鍵のかかる扉で密閉してしまふ西洋の家とは異なる。西洋の個人主義はこのような個室で組み立てられた家に住んできたからこそ生まれたというのはよくわかる話である。

それでは、壁や扉で仕切るかわりに日本の家はどうかとすると、②障子やふすまや戸を立てる。「源氏物語絵巻」などに描かれた王朝時代の宮廷や貴族たちの屋敷を見ると、その室内は板戸や藁戸、ふすまや几帳などさまざまな間仕切りの建具で仕切られてはいるものの、至るところ隙間だらけである。西洋の重厚な石や煉瓦や木の壁に比べると、なんとという軽やかさ、はかなさだろうか。

X、このような建具は全て季節のめぐりとともに入れたりはずしたりできる。冬になれば寒さを防ぐために立て、夏になれば涼を得るために取りはずす。それだけでなく、住人の必要に応じて、ふだんは座敷、次の間、居間と分けて使っている、いざ、おぜいの客を迎えて祝宴を開くという段になると、全てをつないで大広間にすることもできる。このように日本人は昔から自分たちの家の中の空間を自由自在につないだり仕切ったりして暮らしてきた。

次に、「③時間的な間」がある。「間がある」「間をおく」というように、こちらは「何もない時間」のことである。芝居や音楽では声や音のしない沈黙の時間のことを間という。

バッハにしてもモーツァルトにしても西洋のクラシック音楽は次から次に生まれては消えゆくさまざまな音によってうめつくされている。例えば、モーツァルトの「交響曲二十五番」などを聞いていると、息を継ぐ暇もなく、ときには息苦しい。モーツァルトは沈黙を恐れ、音楽家である以上、一瞬たりとも音のない時間を許すまいとする衝動に駆られているかのように思える。

それにひきかえ、日本古来の音曲は琴であれ笛であれ鼓であれ、音の絶え間というものが至るところにあつてのどこかなものだ。その音の絶え間では松林を吹く風の音がふとよぎることもあれば、谷川のせせらぎが聞こえてくることもあるだろう。ときには、この絶え間が余りにも長すぎて、一曲終わってしまったかと思っていると、④やむを得ず次の節が始まるということも珍しくない。そんなふうには、いくつもの絶え間に断ち切られていても日本の音曲は成り立つ。

空間的、時間的な間の他にも、人や物事とのあいだにある「心理的な間」というものもある。誰でも自分以外の人のあいだに、たとえ相手が夫婦や家族や友人であっても長短さまざまな心理的な距離、つまり、間をとって暮らしている。このような心理的な間があつて初めて日々の暮らしを円滑に運ぶことができる。

日本人は「あなたは遠慮深い」と言われると、褒められたような気がする。つまり日本では遠慮は美德とされる。遠慮とは自分のやりたいこと、利益になることをあえて辞退することだが、言いかえると、相手とのあいだに衝突を和らげる空白地帯として心理的な間をおくことである。

⑤「遠慮」という言葉は中国で生まれた言葉だが、中国では深謀遠慮というように「深く考えをめぐらす」という意味だった。これが海を渡って日本にもたらされると、やがて「相手のことを考えて行動を控える」という日本人特有の心理的な間を表す言葉に変わった。

⑥「こうして日本人は生活や芸術や人間関係のあらゆる分野で間を使いこなしながら暮らしている。それを上手に使えば、間に合う」「間がいい」ということになり、逆に使い方を誤れば「間違ひ」「間に締まりがなければ」「間延び」、間を読めなければ「間抜け」になってしまう。

このように考えれば、⑦間の使い方は「この国の最も基本的な「掟」であって、日本文化はまさに「間の文化」ということができるだろう。

では、この間は日本人の生活や文化の中でどのようなはたらきをしているのだろうか。その最も重要なはたらきは異質なもののどうしの対立を和らげ、調和させ、共存させること。Y、「和」を実現させることである。早い話、互に意見の異なる二人を狭い部屋に押し込めておけばけんかになるだろう。しかし、二人のあいだに十分な間をとってやれ

ば、互いに共存できるはずだ。狭い通路に一度におおぜいの人々が殺到すれば、たちまち身動きがとれなくなってパニックに陥ってしまうが、一人ずつ間遠に通してやればなんの問題も起こらない。

日本人が、昔から尊重し、培ってきたこの「和」が誕生するために、なくてはならない土台が「間」なのである。和はこの間があつて初めて成り立つといふことになる。

(ア) 線部①「空間的な間」を意味する「間」のつく言葉として最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

【思判表】

- 1 間食 2 間柄 3 時間 4 居間 5 間違い

(イ) 線②「障子やふすまや戸」と対照的なものを、それぞれ六字と八字で本文中から書き抜きなさい。 【知技】

(ウ) 文章中の X、Y にあてはまる言葉として最も適切なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

【知技】

- 1 つまり 2 そして 3 しかし 4 では 5 例えば 6 しかも

(エ) 線③「時間的な間」について、西洋の音楽と日本古来の音楽の特徴として適切なものを次の中からそれぞれすべて選び、その番号を答えなさい。

【思判表】

- 1 音がしない時間が挟みこまれた音楽 2 音が均一に聞こえてくる音楽
3 音がしない時間がほとんどない音楽 4 のどかに聞こえる音楽 5 せわしく聞こえる音楽

(オ) 線④「やわら」について、本文中での意味として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

【知技】

- 1 いきなり 2 思ひかけず 3 ゆっくりと 4 やわらかに 5 しなやかに

(カ) 線⑤「遠慮」について、次の問いに答えなさい。

a 筆者が説明している「遠慮の説明として適切でないものを次の中からすべて選び、その番号を答えなさい。

⑦

【思判表】

- 1 日本において「遠慮」は美德である。
2 相手とのあいだに心理的な間をおくことである。
3 日本人の遠慮深さは、世界から称賛されている。
4 日本では子どもの頃に遠慮することを教育される。
5 日本人の「遠慮」は、行為に対し消極的な心情の表れである。
6 相手のやりたいことを優先して自分は辞退する意味をもつ。
7 自分に利益になることを辞めるよう強制される言葉である。

b この段落の役割について最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

【知技】

1 「遠慮」という言葉の意味を例にして、中国人のものの考え方との違いを対比的に示すことで、日本人独特のものの考え方を説明する役割。

2 「遠慮」という言葉が中国では「深く考えをめぐらす」という意味だったことを示すことで、中国におけるものの考え方の特徴を説明する役割。

3 「遠慮」という言葉が生まれたのが中国であることや、中国における意味を示すことで、西洋だけでなく中国に関する知識についても説明する役割。

4 「遠慮」という言葉が生まれた中国における意味を示すことで、日本では「遠慮」という言葉が誤った意味で使われていることを説明する役割。

(キ) 線⑥「「うして日本人は……暮らしている」の一文が果たしている文章構成上の役割として最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。」

【知技】

1 三つの「間」について具体的に説明してきた内容を一言で言いまとめている。

2 三つの「間」について具体的に説明してきた内容と違う観点から別の話題に切りかえている。

3 三つの「間」について具体的に説明してきた内容にあてはまらない事例を示して反論している。

4 三つの「間」について具体的に説明してきた内容に新たな事例を加えて補強している。

(ク) 線⑦「間の使い方は、この国の最も基本的な「掟」について、「間」の最も重要なはたらきを本文中から

十一字で書き抜きなさい。」

【思判表】

(ケ) 「間」と「和」の関係についての筆者の考えとして最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

【思判表】

1 「間」は他人との衝突を避けた、日本人が大切にしてきた大切にしてきた心理的な距離であり、互いに「和」を尊重する気持ちを土台にして生まれてくる。

2 「間」は日本人が現在に足るまで尊重し培ってきた「和」を誕生させるために必要な土台であり、「間」があつて初めて「和」が成り立つ。

3 「和」は日本人が互いに尊重し培ってきた生活を守っていくために必要な協調性であり、その協調性が一致したところに「間」が存在する。

4 「間」と「和」は日本人が古来より大切を守ってきた生活の基盤となるものであり、一つが欠けると成立しない切っても切れない関係にある。

問5 中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人グループは、批評文の書き方の授業を受け、「書くこと」に関するグラフを見ながら会話をしている。次のグラフ1、グラフ2(日本財団18歳意識調査「第30回」読む・書く―要約版」より)と文章は、そのときのものである。これらについて、あとの問いに答えなさい。

Aさん 昨日は「批評文を書く」という授業を受けたね。

Bさん 批評文は、一見物事に対して批判するための文章だと思ってしまうけれど、①実際はそうではないんだよね。

Aさん それと、どれだけ読みやすい文が書けるかは、「構成」が大切になる。

Cさん 序論・本論・結論という三つの構成は基本よね。そして、本論にどのような話題を組み込むかが鍵を握る。色々な視点からの観察や分析があつての本論だったよね。

Bさん そう。例えば、中心の題材のプラス面とマイナス面をそれぞれ取り上げる方法とかね。

Aさん 他にも②いくつかの方法があつたよね。

Dさん でも、なかなかすぐに長文を書くというのは難しいことだったな。

Cさん 長文を書くのに抵抗があつても、構成ごとに分けて書いたら少し取り組みやすかったよ。

Dさん ところで、この調査を見てほしいの。高校生に文章を書くのが好きか嫌いかを調査していて、次ページにあるグラフが示されている。私たちだったらどのような結果になるかな。

Aさん グラフ1を見ると、「どちらでもない」と思っている人が最も多くて、「好き」と「嫌い」にはそれほど差はないみたいだね。

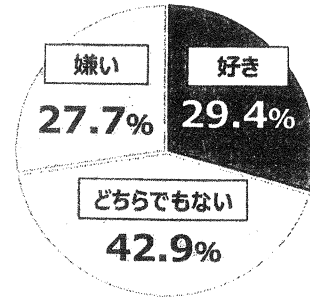
Cさん それなら、「嫌い」と思う人たちが減っていったらいいよね。

Bさん グラフ2を見ると、

中学生のうちに書くことに少しでも慣れたり、書き方について学んだりすることが大切なのかもしれないね。

Dさん 書くことが楽しいって思えたら最高だよな。

Aさん 私もそうになりたい。苦手だけれど、今のうちに授業でコツをしっかりと習得して、自分の思いを自分の言葉でちゃんと表現できる大人になりたいな。



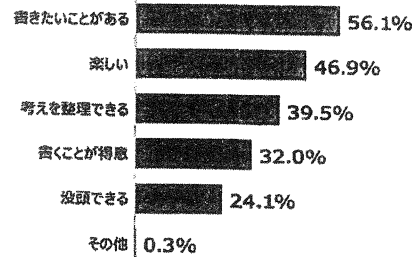
グラフ1

Q 文章を書くことが好きですか。(n=1000)

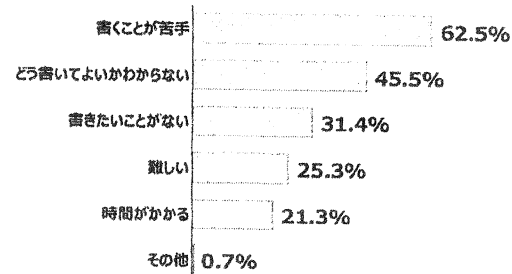
■本調査の「文章」の対象
日記
短文をSNSに投稿
長文をSNSに投稿
家族・友人への連絡
論文・レポート
作文(体験文・感想文)
手紙 など

グラフ2

■「好き」回答者
Q 前問で文章を書くことが【好き】とお答えになった理由を選択してください。(3つまで) (複数回答) (n=294)



■「嫌い」回答者
Q 前問で文章を書くことが【嫌い】とお答えになった理由を選択してください。(3つまで) (複数回答) (n=277)



(ア) 線部①「実際はそうではない」について、批評文の説明として正しいものには○を正しくないものには×を書きなさい。

【知技】

- 1 物事のよしあしを見きわめ、自ら判断する力が求められる文章。
- 2 物事のよしあしや特性を改めて問いたしながら批判し深めていく文章。
- 3 物事のよしあしや特性、価値などについて判断し評価する文章。
- 4 物事のよしあしを的確に説得力のある言葉で相手に伝える文章。

(イ) 線部②「いくつかの方法」について、本文では触れられていない方法を一つあげ、解答欄に書きなさい。

【思判表】

(ウ) 本文中の「 」は、Bさんのセリフの内容である。本文に合うものとして適切でないものを次の中から

【思判表】

一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「嫌い」回答者の理由としては、「書くことが苦手」が六十パーセントを超えているけれど、「好き」回答者の理由を見ると、「書くことが得意」はその半分であることが分かる。
- 2 「嫌い」回答者の理由としては、「どう書いてよいかわからない」「難しい」が上位二つを占めていて、学力的に不安を抱えている人が多く、十分に学習ができなかったことが予想される。
- 3 「好き」回答者の理由としては、「書きたいことがある」「楽しい」が上位二つを占めていて、学力的に書けるか書けないかではなく、書きたいという意欲と主体性が大切なことが分かる。
- 4 「嫌い」回答者の理由として、「どう書いてよいかわからない」が四十五パーセントを超えているので、書き方の指導を重点化したら書けるようになり、「好き」回答者の「楽しい」につなげられるのではないかな。